

学校だより



2学期を振り返り、学年のまとめの3学期に向けて！

今年もカレンダーが最後の1枚になってしまいました。子どもたちの学校生活も2学期の締めくくりに月になり、19日と20日は個人懇談会も予定しています。短い時間ではありますが、2学期のお子様の様子を振り返るとともに、担任と話をさせていただき、学年のまとめである3学期に向けて前進できますようよろしくお願いいたします。

2学期は、学芸会をはじめ修学旅行や陸上運動記録会、山の学習、校外学習や秋祭りなどたくさんの行事や活動がありました。その中で、子どもたちはそれぞれ「めあて」をもって取り組み、力を伸ばしてきました。また、保護者や地域の皆様には、登下校の見守りや資源回収、社会体育の指導や支援など様々な面でお世話になりました。

今年も残るところ1か月。子どもたちに1年を振り返らせるとともに、新しい年に向けて次への目標を考えさせたいと思います。

最後になりましたが、今年1年間、多くの行事や活動にご理解とご協力をいただきました保護者や地域の皆様方に心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



今月の生活の目標 「安全な暮らしをする」

気を付けていても、指導をしていても毎日けがが起こり、多くの児童が保健室を利用しています。「安全な暮らしをするためには、どんな過ごし方をすればよいのか。」を子どもたちと共に考え、不注意やルール違反によるけがを減らす2学期末にしたいと考えています。

2学期（先週まで）のけがの統計では、次のようになっています。

- 学年別発生件数 1年:86件, 2年:24件, 3年:45件, 4年:20件, 5年:46件, 6年:8件
- 場所別発生件数 運動場:88件, 教室・特別教室:55件, 体育館:15件, 廊下:4件, 階段:3件
- 時間別発生件数 体育等の授業中:66件, 昼休み:52件, 中休み:51件, 給食前後:12件
掃除時間:12件, 登校中:4件
- 種類別発生件数 打撲:101件, 擦過傷:74件, かゆみ:13件, 刺し傷:7件
切り傷:4件, 捻挫:3件, 突き指:3件, やけど:3件



校外でも危険はたくさんあり、道路・用水路・川・池・崖などで気を付けないといけないきまりや必ず守らなくてはならないきまりがあります。子どもたちが危険なことをしている時には、遠慮なく“鴨西小の子ども”として注意してくださるようお願いいたします。冬休みを前に、気持ちが落ち着かなくなる時期です。ご家庭でも「安全」を話題にいただけるとありがたいです。

【 躰 と 教育 】

「躰」という字は、身を美しくすると書きます。「挨拶をきちんとする」「言葉遣いに気を付ける」「嘘をつかない」「物を丁寧に使う」「食べ物を残さずきれいに食べる」「脱いだ履物をそろえる」など、「躰」は子どもが人として社会で生きていく上でのルールやマナーを身に付けさせることです。「躰」という文字は、日本で作られた文字（国字）だそうですが、きちんと躰けられた人は、所作だけではなく考え方も美しいと感じられます。

一方「教育」とは、知識や技術を教え、人の能力を開発して望ましい姿に育てる活動のことを言い、「学校教育」や「社会教育」など対象や目的によって変わることから、その意味は広く捉えられます。

ところで、この「躰」と「教育」は、似ているようで違います。「躰」は、その結果として同じような姿に近付くことになりますが、「教育」では、個性を伸ばすと多種多様な将来に行き着くように、必ずしも同じ姿にはなりません。

学校教育の場である学校は、もちろん「教育」をしています。また、学校が子どもたちの人格形成や集団育成の場であることから「躰」に近い「教育」もしています。生活指導として、挨拶などの「基本的な生活習慣」や「公正・公平な態度」などを教えていますし、道徳科の授業にもそうしたことを学ぶ学習内容があります。しかし、家庭での「躰」が不十分だと、学校の「教育」の効果は半減します。子どもの周りの大人が同じ価値観で導びかないと、子どもはすぐに易しい方に流されていくからです。例えば、学校でいくら「時間を守りなさい」と指導しても、家庭で時間の過ごし方がルーズであれば、子どもはそれが基本になります。

学校では、集団規範や礼儀作法について、これからも指導を続けていきますが、ベースとなる家庭での「躰」があってこそ「教育」です。家庭と学校とが、子どもの未来について同じ方向を見ながら、価値観を共有して育てていくことができればと思っています。これからもお子様の健やかな成長のためにご協力をよろしくお願い致します。

